

12 用語の解説

| 行 | 用語 | 説明 |
|---|--------------|--|
| あ | アンコンシャス・バイアス | 自分自身では気づいていない「無意識の偏ったモノの見方」のこと。 例えば、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に同感していなくとも、「親が単身赴任中」と聞いて、父親を想像したり、「保育士・看護師の友人」と聞いて、女性を思い浮かべてしまうなど、その人の過去の経験や知識などにより、性差に関し無意識に何気ない発言や行動として現れること。 |
| | エンパワメント | 能力や権限を与えるという意味の言葉。女性のエンパワメントとは、男女共同参画社会の実現のために、女性が自らの意識と能力を高め、社会のあらゆる分野で、政治的、経済的、社会的及び文化的に力を持った主体的な存在として、その力を発揮し、行動していくこと。 |
| か | 家族経営協定 | 家族で農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるもの。 |
| | キャリア教育 | 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促す教育。 |
| | 固定的な性別役割分担意識 | 男女を問わず個人の能力などによって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事、女は家庭」「男性は主要な業務、女性は補助的業務」などのように、男性、女性という性別を理由として役割を固定的に分ける考え方。 |
| さ | ジェンダー | 「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別（セックス /sex）がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」（ジェンダー /gender）という。 |
| | 市総合計画 | 総合的かつ計画的な行政運営の指針となるもので、まちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための施策や事業を示すもの。 現在の「第六次甲府市総合計画」においては、将来の都市像を「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」としている。 |
| | 性自認 | 自分の性別をどのように認識しているのか、どのような性別に帰属意識を持続的に持っているか（持たないか）、という自己認識のこと。 |
| | 性的指向 | 恋愛・性愛がどの性別を対象とするか、しないかを示すもの。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛、他者に向かない無性愛などがある。 |
| | 性的マイノリティ | 性的少数者、セクシュアルマイノリティともいう。性的指向、性的自認などの性の領域に関して社会的に少数派のこと。 LGBTQ は、性的マイノリティのうち代表的なカテゴリーの英語の頭文字をとって作成された言葉で、Lesbian（レズビアン）は同性に性的指向が向く女性、Gay（ゲイ）は同性に性的指向が向く男性、Bisexual（バイセクシュアル）は同性も異性にも性的指向が向く人、Transgender（トランスジェンダー）は出生時に割り当てられた性とは異なる性自認を持つ人等を意味する。Qは2つの意味を持ち、Questioning（クエスチョニング）は性的指向や性自認が分からない、決めていない人等、Queer（クィア）は伝統的・社会的規範に当てはまらない多様な性の在り方等を意味する。 |

| 行 | 用語 | 説明 |
|---|------------------|---|
| さ | セクシュアル・ハラスメント | 相手の意に反した性的な性質の言動により、相手に不快感を与えることや、相手の生活環境を害する行為をいう。身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的な噂の流布、衆目に触れる場所へのわいせつな写真の掲示など、様々なものが含まれる。 |
| た | 男女共同参画社会 | 「男だから、女だから」といった性別にこだわることなく、だれもが個性と能力を発揮し、家庭・職場・地域など、社会のあらゆる分野に参画する機会があり、利益も責任も自らが担い、自分らしく生き生きと暮らすことができる社会。 |
| | デートDV | 恋人や交際相手などの親密な関係にある者（配偶者等を除く）の一方から他方に対して振られるあらゆる形の暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的な暴力のほか、借りたお金を返さないなどの経済的暴力や、家族や友人との付き合いを制限するなどの社会的な暴力も含まれる。 |
| | DV | Domestic Violence の略語。配偶者やパートナー、恋人を含む親密な関係にある、またはあった者から振られるあらゆる形の暴力のこと。身体的な暴力だけでなく、精神的、性的、経済的、社会的な暴力も含まれる。 |
| は | パワーハラスメント | 職場等での優越的な関係を背景とした言動であって、業務上適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える、または職場環境を悪化させる行為をいう。 |
| | フレイル | 健康と要介護の中間の、身体や心の機能が低下した虚弱状態のこと。 |
| ま | マタニティ・ハラスメント | 妊娠、出産、育児休業等を理由として不利益な取扱いを行うこと。 |
| | 見えない家事 | シャンプー・洗剤・ハンドソープなどの補充、ごみの分別、夕飯の献立を考えるなど、誰かがやらなければ困る細かな家事のこと。料理・洗濯・掃除のような代表的な家事に付随しているため、気づきにくいのが特徴。 |
| | メディアリテラシー | メディアからの情報を主体的に読み解き、自己発信する能力のこと。 |
| ら | リプロダクティブ・ヘルス/ライツ | 「性と生殖に関する健康と権利」と訳される。女性が生涯にわたって身体的、精神的、社会的に良好な状態であることをリプロダクティブ・ヘルスと呼び、このリプロダクティブ・ヘルスを享受する権利をリプロダクティブ・ライツという。 |
| | ロールモデル | 将来目指したいと思う、模範となる存在であり、スキルや具体的な行動を、学んだり模倣をしたりする対象となる人材のこと。 |
| わ | ワーク・ライフ・バランス | 「仕事と生活の調和」のこと。一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを指す。 |